



# 青島の風

青島日本人学校だより  
平成 30 年 1 1 月 2 日  
校 長 金 森 孝 子

## 青島の歴史に学んで国際人に・・・

「私が生まれて育っていた街は中国の青島というところで、中国の風光明媚な小さな漁村をドイツが租借し、ヨーロッパ風な美しい街をつくり、第一次世界大戦後、日本があとを継いで統治していた街だ。」これは、作曲家「中村八大」さん(1931～1992)のエッセイ「ぼく達はこの星で出会った」(1992年 講談社)の一節です。八大さんは、世界中でヒットした曲「上を向いて歩こう」(アメリカの曲名「スキヤキ」)を作曲した方です。子どもたちには、あまり馴染みがないと思われるかもしれませんが、広報委員が放送で流しているお昼のテーマソング「笑点のテーマ」は、八大さんが作曲したものです。エッセイには、当時青島に亡命していたユダヤ系ドイツ人の音楽教師 ヘルス先生にピアノを師事したことなど、その時代の青島の様子も記されています。世界的映画スター「三船敏郎」さん(1920～1997)も青島出身です。

旧市街には、ちょうど100年前に建てられた青島日本人第一高等尋常小学校の校舎が残り、現在でもホテルとして営業されています。1937年、日中戦争が始まってからも、日本企業の進出は続き、青島に住む日本人は4万人にまで増えたとされています。これらの内容については、昨年度、青島日本人学校創立15周年記念資料集「私たちの青島」を発行し、その中で詳しく調査したことをまとめました。すでに、子どもたちは、学校に保管しながら学習に使っていますが、来週の学習発表会では、創立15周年のミニセレモニーを行いますので、記念となる資料集を保護者の方々にも読んでいただけるように、一旦お家に持ち帰ります。保護者の皆様にも興味をもっていただけると嬉しいです。

さて、国慶節の休みを利用して、青島市膠南にある琅琊台(ろうやたい)に行ってきました。現在、地下鉄13号線の開通が急ピッチで進んでいますが、すでに試運転も始まっており、「琅琊台」にも地下鉄の駅ができる予定です。そこは、かつての中国五大港の一つで、秦の始皇帝が徐福(じょふく)に、不老不死の薬をさがすよう命じ、彼を送り出した場所です。徐福は3000人近い者を従え、海を隔てた日本に行き、東方の王となったとされ、日本でも多くの場所で徐福到来伝説が語り継がれています。琅琊台には、当時の出来事を十数枚の絵を用いて解説した記念館があり、はるか遠い昔の日本とのつながりがしのばれる場所で、二千年以上のときを経て、自分がその地を訪れていることに感慨深い思いをもちました。

青島には、日本とのつながりのある史跡がたくさんあります。子どもたちには、直接、青島に残る歴史に触れながら、理解を深め、感性を磨きながら、国際人としての素養を身に付けてほしいと思います。

## 学習発表会

行事担当 迎 香純

青島日本人学校の一大イベントである、学習発表会が近づいてきました。今年のテーマは「Only one～笑顔の花を咲かせよう～」です。このテーマのもと、どの学年も自分たちのカラーを生かし、学習したことを伝えるために、日々練習に励んでいます。

今年は創立15周年を迎える記念すべき年です。学習発表会のはじめに、実行委員による15周年ミニセレモニーを行います。先日の係打ち合わせでは、「青島日本人学校で学ぶことができる喜び」を、どのように伝えればよいか話し合いました。子どもたちからたくさんのアイデアが出され、学校が大好きなことが伝わってきました。ミニセレモニーもどうぞお楽しみください。

また劇や合唱、合奏といった各学年からの発表のほか、恒例の小学部6年生と中学部による和太鼓演奏があります。業間休みや昼休みに、熱のこもった力強い太鼓の音が毎日響いています。当日も迫力のある演奏を聴かせてくれるはずです。学習発表会の締めくくりは全校合唱です。「世界に一つだけの花」を二部合唱を披露します。日頃の学習成果を、家族や地域の皆様に発表し、今年のテーマにあるように、笑顔の花を咲かせたいと思います。ぜひお子様の成長をご覧ください。



## 教室の窓

小学部4年 担任 尾崎 亮介

高学年の仲間入りをしてから半年が過ぎました。子どもたちは様々な活動を通して、高学年としての自覚を身に付けているように感じます。特に9月末に行われた運動会では、自分たちの競技だけでなく運動会の運営に関わる係活動に参加したり、ソーラン節のリーダーとして下級生に踊りを教えたりしました。係活動では、中学部のお兄さんお姉さんに教えてもらいながら、ソーラン節では、下級生に踊りを教えながら、下級生でもあり高学年でもあることを実感できたと思います。この経験を通して、理想の高学年の姿や高学年として前に立つことの難しさを学ぶことができました。

4年生は心の面だけでなく、体の面でも大きく成長してきました。保健体育科「すこやかに育て！わたしたちの体」では、1年生から4年生になるまでどれだけ身長が伸びたのかということを確認しました。身長が20cm以上も伸びている子や、身長の高さでは友達より低くても身長の伸び率では勝っているという子がいました。成長の仕方には個人差があることを知った上で「これまでの体の変化」から「これから体の変化」に目を向けた際、自分がどうしたら大きく、すこやかに成長することができるかということを考えていきます。

子どもたちはこれから思春期をむかえ、心も体も大人へと変化する時期に入っていきます。いろいろ考え、悩みや不安に思うことも多くなっていくかもしれません。しかし、それを心の成長と捉え、素直に喜ぶことができるような子どもたちになれるよう、残りの半年間も支えていきたいと思っています。



## 教室の窓

中学部3年 担任 大林 恭子



転入初日の記念撮影

9月に新たな仲間が増えた中学部3年生。転入する側はもちろんですが、たった二人で過ごしてきた期間が長かった分、迎え入れる側も、緊張が伴ったのではないかと思います。しかし、あっという間に打ち解け、今時の話題で盛り上がる3人を目の当たりにした時には、担任が少し疎外感をもつほどでした。

授業中の話し合いでは、別の視点からの発言に、なるほどと思わされたり、はっとさせられたりすることもしばしば。この時期の生徒たちにとって同年代の関わりがいかに大切かということに改めて考えさせられました。2か月がたった今は、発言の内容や考え方についても、その子の生活経験や人柄をまるごと受け止めようとする関係の深まりを感じます。

卒業まで残り5か月をきり、受験生の焦りを感じずには入れない時期に入ってきました。目指す場所はそれぞれ違いますが来春の桜を全員が笑顔で見られるよう、青島の厳しい冬を励まし合いながら、共に乗り越えさせたいと思います。



## お知らせ

元PTA会長の前嶋様から、即席みそ汁(生みそタイプ)を寄贈していただきました。学校で、緊急時の備蓄として保管しておりましたが、賞味期限があることから、家庭数で配布させていただくことになりました。

11月5日(月)に持ち帰りができるよう、袋等の用意をお願いいたします。(1家庭、1箱30×22×17cm)